

#### 4 分析結果の概要（詳細分析は、6「問題別の考察及び指導上の留意点」に掲載）

ここでは、令和元年度学力調査結果に見られる新入学生徒の学力の傾向を項目ごとにまとめた。

##### (1) 発音・文強勢（【1】発音・文強勢問題 正答率 62.9%）

会話文において、music の下線部の発音 [z] はよくできているが、ready の [e] と great の [ei] の発音の区別ができていない。また、雨が降りそうな状況で、umbrella に強勢を置いて相手に伝えることが判断できていなかった。

##### (2) 語彙力（【2】語彙問題 正答率 64.2%）

選択式問題の正答率は70%以上と高く、基本的な語彙は定着していた。一方で、正答率が40%未満であった記述式問題（different, spend）では、つづりの誤りよりも、別の語を解答する誤答や無答が多く、文脈の中で正答の語を用いることが理解できていなかった。

##### (3) 文法の知識（【3】文法・語法問題 正答率 77.0% 【4】文法・表現問題 正答率 65.6%）

ア 【3】文法・語法問題は、全大問の中で2番目に正答率が高く、特に過去分詞の後置修飾の用法や、関係代名詞 who の用法はよく定着している。

イ 【4】文法・表現問題においては、対話の内容に応じて、時間を表す前置詞 in を適切に用いることができていない。一方で、最上級や助動詞 could を用いた表現はよく定着している。

##### (4) 口語表現（【5】口語表現問題 正答率 57.7%）

全大問の中で最も正答率が低く、会話の展開を理解した上で、やり取りの流れに応じて適切な表現を用いることができていない。

##### (5) 表現力（【6】整序・作文問題 正答率 63.7%）

It is ～ for 人 to 不定詞の構文や現在完了（経験）を用いた表現はよく定着している。特に、現在完了（経験）や間接疑問を用いた表現は、過年度と比較して正答率が上がっている。

##### (6) 読解力（【7】長文読解問題 正答率 58.0%）

全大問中で2番目に正答率が低く、登場人物の発言や行動を整理しながら、物語の展開を正確に捉えることができていない。【5】口語表現問題と同様に、多くの情報を整理しながら、内容を正確に理解する力に課題が見られた。

##### (7) 聞き取りの力（【8】聞き取り問題 正答率 77.7%）

全大問中で最も正答率が高く、会話の内容から、場面や状況を理解することはおおむねできている。